

＜新木場＞気になるスポット 「サムライサウナ」を訪ねて

月報委員会
委員 日向 進

いま空前のサウナブーム。テレビや雑誌でも多くの特集があり、「ととのう」感覚を求め「サウナー」と呼ばれる人たちが増えているとの事。皆さんは新木場に話題のサウナがある事を御存じでしょうか。今回は「サムライサウナ」さんを訪ねて、新木場ネットワークスの五木田高明社長のところへ、深谷委員長、馬田副委員長とともにお話を伺って参りましたのでご紹介させていただきます。



新木場にある「サムライサウナ」 秋田杉を使った正五角形が特徴です

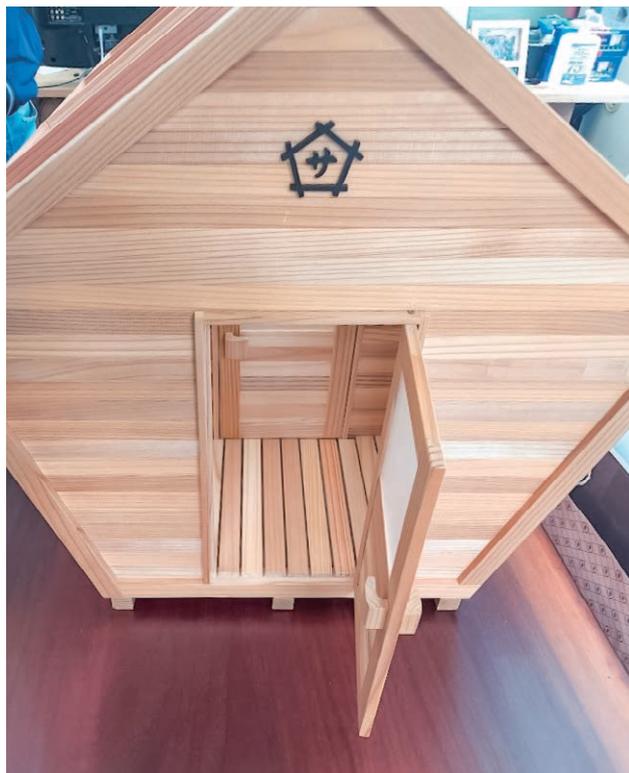
なぜサウナを

はじめはコロナ禍の2021年2月、北海道の鶴居村にてサウナクリエイターの板さんが経営する貸別荘に、ロシア製バレルサウナが導入されたと聞き来訪。とても気に入った反面、ロシア製のパイン材でできているのが気になった。板さんから「日本製でサウナを造ってくれないか?」とこの一言からプロジェクトがスタート。試行錯誤する中で長野県の国産ストーブメーカーからサウナストーブが発売さ

れたことを知り、飛び込みで営業。そして以前からお付き合いのある女性一級建築士に相談すると、サウナーである事を知り、チームに合流。正五角形の案が出来上がった。

サムライサウナの誕生

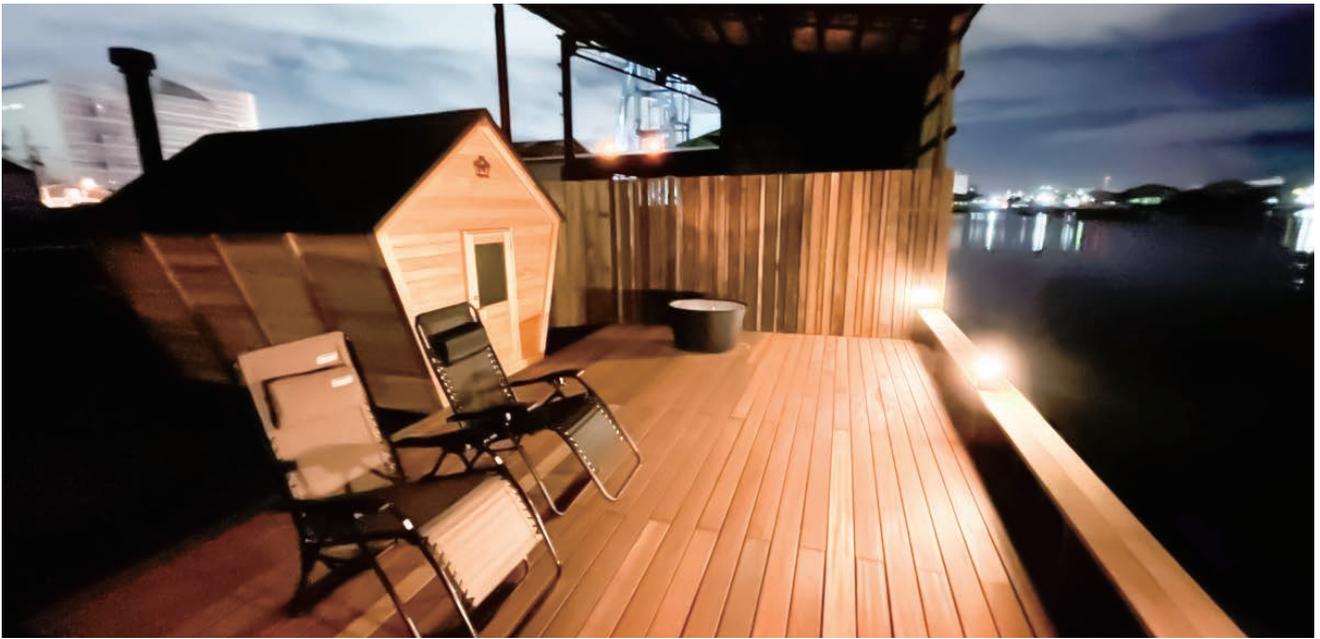
オールジャパンで開発をすすめ、改良を重ねる中で試行錯誤の日々。素材は秋田杉を使って、デザイン、技術を結集させ、そしてついにニッポンのやすらぎをテーマにした「サムライサウナ」が完成。2021年11月11日「侍の日」に発売となる。



秋田の家具メーカーからのミニチュアサンプル (かなり精巧です)



新木場敷地内にあるサムライサウナ (ホームページより)



サムライサウナ (ホームページより)



五木田社長の案内で、リラックスできる108度の快適な空間を体験

改良を重ねに重ね

サウナにはたくさんの種類があるそうですが、サウナ発祥のフィンランドでは、古くから自宅に設置できる「バレル(樽型)サウナ」がおなじみ。この五角形のバレルサウナを考案するには、何度も何度も試作を重ね、今に至るそうです。当初は五角形の形状に対し、構造上大丈夫なのかと心配もされたようですが、板材、厚み、幅、五角形の角度などなど(企業秘密で)隅々まで計算され尽くし開発。ストーブも薪や電気・ガスなど安全面やコスト面でも努力を重ねたそうです。実際に組み立ては、板をはめ込む形で、数時間もあればできるとの事。サムライサウナはデザイン性、機能性、開放感、熱滞留の良さや持ち運びもできるコンパクトさもあり、いまサウナブームもあって、様々なイベントや取材、お問い合わせが凄いそうです。しかしながら、設置となると消防の許可や条件などが地域によっても違いがあり、安全に快適に使用できて、ちゃんとした良いものが提供できるよう、努力を重ねているそうです。



モキ製作所のサウナストーブ、こだわりのストーンにもマークが



機能性を考え、上下スライドできる雪見障子の工夫

今後の展望

すっかりバレルサウナに取りつかれた五木田社長。バレルサウナ業界全体で一緒に頑張りたいという想いも強いそうです。現在は秋田杉を使用していますが、その地域の木材を使ったサムライサウナの製作もすすめているそうです。いまサウナ業界は繁忙期で、全国を飛び回って忙しい五木田社長。終始とても楽しい取材で、「細々とやりたかったですが、皆さんにバれてしまいました」とお茶目に話していましたが、「地に足つけて、安心して提供できるものをやっていきたい」と語ってくれました。ますます今後の「サムライサウナ」に注目です。取材した新木場では体験もできるそうで、皆さんも一度お試してはいかがでしょうか。

【サムライサウナ HP】 ※詳しくは一度ご覧ください

<https://samurai-sauna.com/>

合同会社 新木場ネットワークス

江東区新木場2-8-7 TEL：03-5569-8420 FAX：03-3521-2020